

<目的>

分野横断的演習は、重要インフラ事業者における事業継続計画や官民・分野横断的な情報共有体制に関する実効性の検証及び課題の抽出を行うことにより、障害対応体制の強化を図ることを目的とする。

<参加者予定人数>

約2,900名強（2,647名：平成29年度実績）
重要インフラ事業者、セプター事務局、所管省庁、
IPA、JPCERT/CC等

<本年度の着眼点（昨年度からの変更点）>

- ①サイバーセキュリティ戦略（H30.7.27決定）に記載
官民の枠を超えた訓練・演習の実施について項目立て。
- ②第4次行動計画改定（H30.7.25決定）の策定
空港分野が追加され14分野に。空港分野も本年度演習から参加。
- ③安全基準等策定指針等（H30.4.4決定）の策定
機能保証の考え方を踏まえ、重要インフラサービスの安全かつ持続的な提供の観点で、事業継続計画・コンテンツエンジンプランの作成を含めた対処態勢整備を記述。今回、事前説明会にて、各参加者が当該指針を受けた安全基準や社内規程を踏まえた演習を行うことの必要性について解説。
- ④オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組
オリパラ東京大会をも視野に入れたシナリオ（サービス障害に関するレピュテーションリスクへの対応等）による演習を実施。

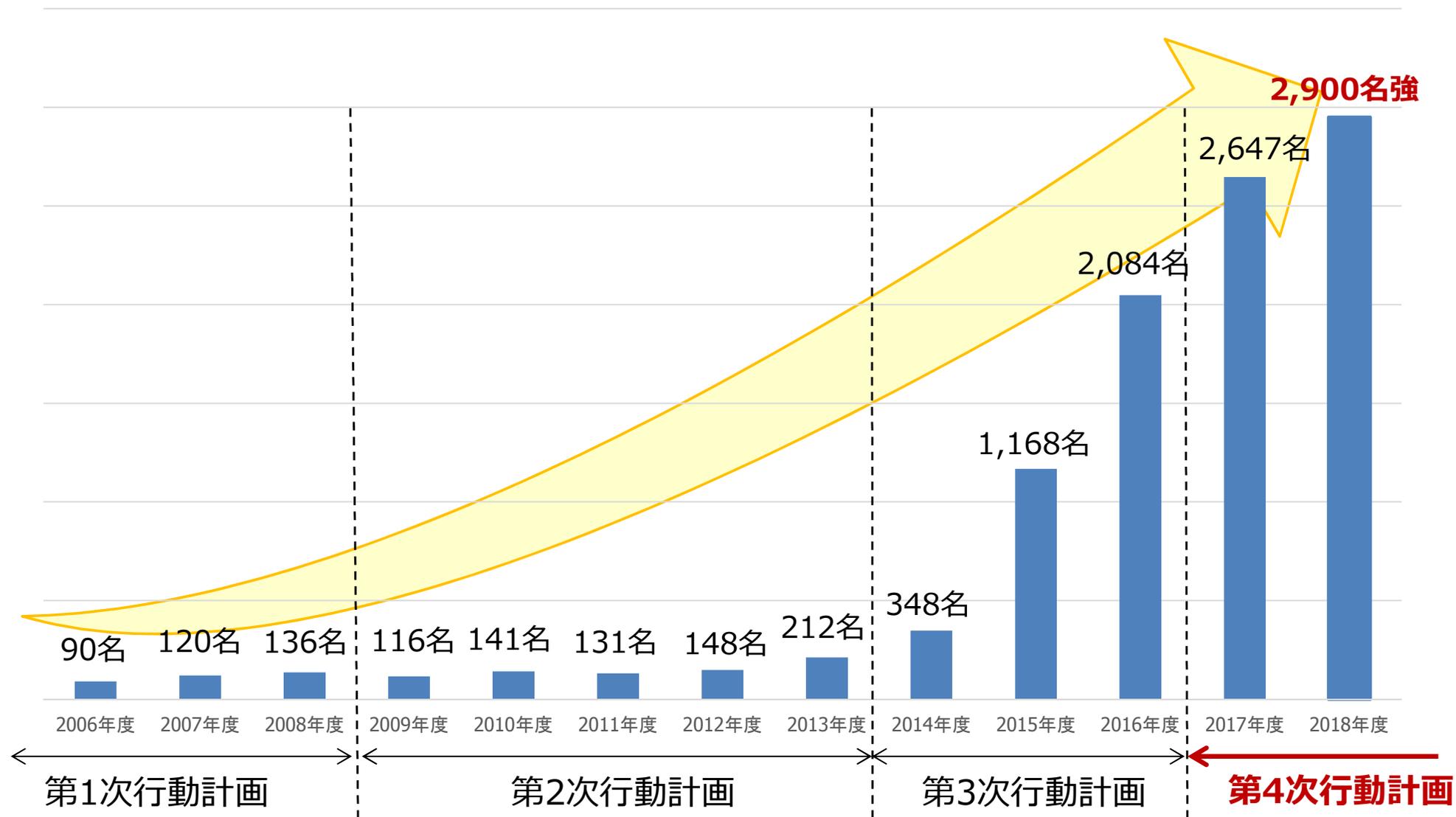


昨年の演習の様相

(補足)

- ・分野横断的演習は、2006年度より実施し、本年度は13回目の実施。
- ・東京、大阪、福岡の会場参加のほか、より実践的な演習が可能となる事業者の自職場からの参加も推進。
- ・昨年度は、開会式において鈴木大臣が御挨拶。

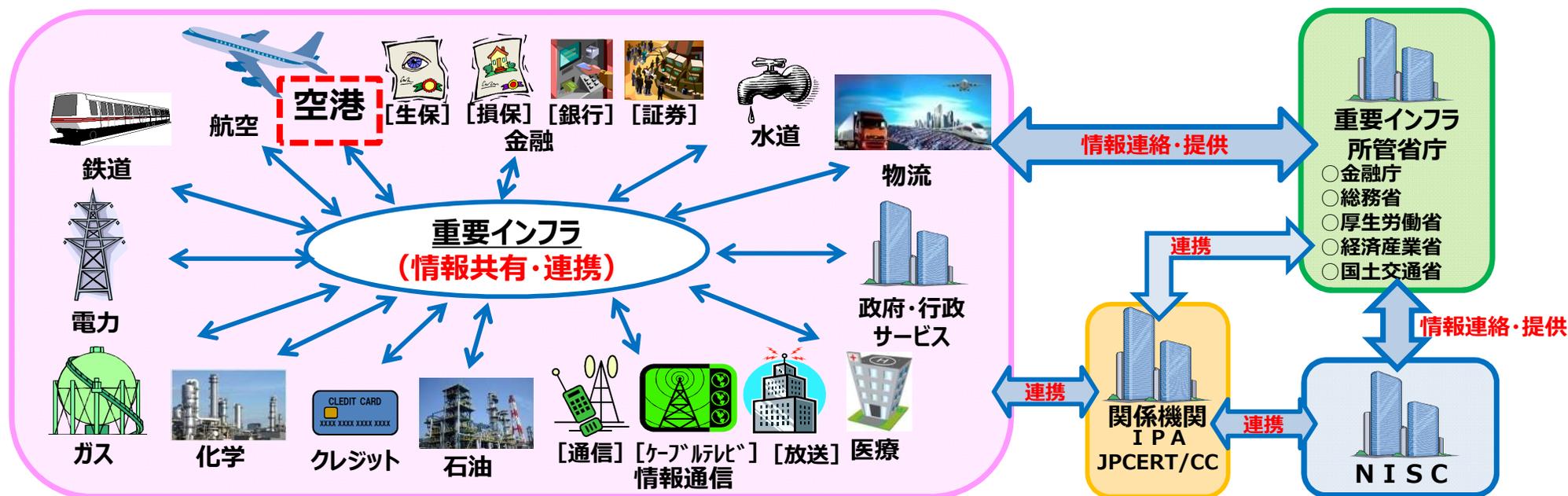
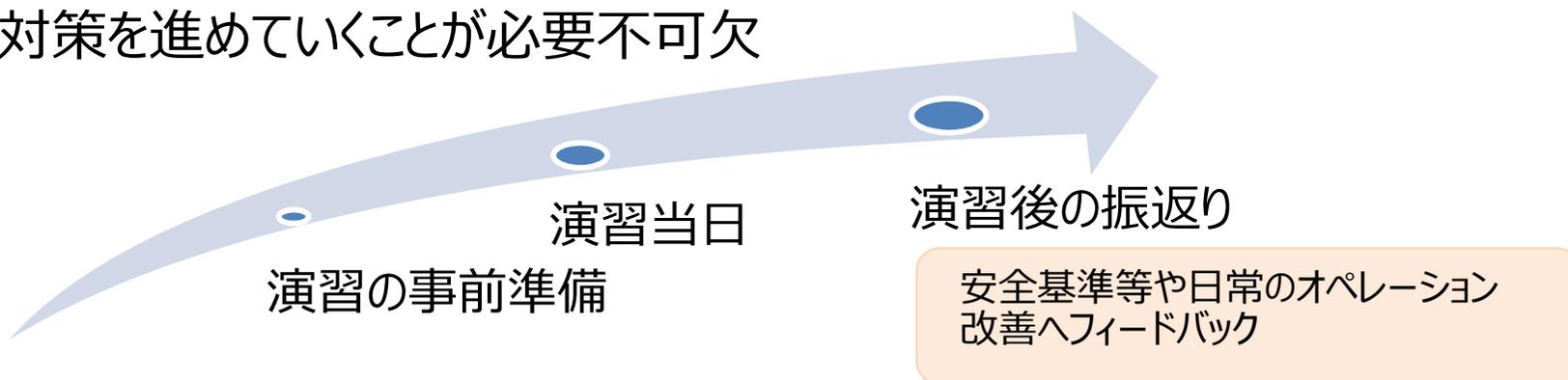
分野横断的演習の参加者数の推移



分野横断的演習の基本コンセプトと関係者

○ 演習当日における対応に加え、**事前準備**及び**事後の振り返り**により構成

→ 演習の事前準備と事後の振り返りを通じて、事業者等が365日、対策を進めていくことが必要不可欠



2018年度分野横断的演習 スケジュール

	2018年						2019年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
演習		<div data-bbox="465 794 712 976" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 演習 参加募集 </div>		<div data-bbox="965 730 1039 783" style="text-align: center;">▼</div> <div data-bbox="781 794 1205 1158" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事前説明会 (プレイヤー向け／ サブコントローラー向け) 東京:10/23(火) 大阪:10/25(木) 福岡:10/26(金) 東京(予備):10/30(火) </div>		<div data-bbox="1350 730 1424 783" style="text-align: center;">▼</div> <div data-bbox="1279 794 1520 916" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 演習 12/13(木) </div>	<div data-bbox="1641 730 1715 783" style="text-align: center;">▼</div> <div data-bbox="1554 794 1816 916" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 意見交換会 1/22(火) </div>		